

日刊建設通信新聞（2026年6月3日付3面掲載）

【オリコンサルと三重・多気町ら 地域住民を運転手に ライドシェア実証実験】

オリコンサルと
三重・多気町ら

地域住民を運転手に

ライドシェア実証実験

オリエンタルコンサルタンツは、2025年11〜12月に三重県多気町と大台町、度会



町の3町と連携したライドシェアの実証実験を行い、利用者から高い評価を得た。写真。

実証では、通院や買い物・外食といった日常消費行動、鉄道駅へのアクセス、学習塾を含めた学校教育など3町をまたいだ地域生活圏の移動ニーズに応えるため、地域住民が運転する車両を活用した。利用者からは「普段であれば諦めていた移動が実現した」と好評だったという。

この取り組みは、経済産業省の「25年度地域新Maas創出推進事業」に採択された「デジタル基盤や6町・民間企業の協力的活用による『移動』『自動車』を核とした地域連携型サービスの事業モデルの構築」の一環として運賃無料で実施した。

7週間21日間の実証実験期間中に全58回の運行が成立した。このうち他町の施設を利用するための移動は27回だった。利用者層は70代以上が全体の約7割を占めた。利用目的は「病院」が最多だった。同社はこの結果を踏まえ、「当該地域で地域住民と連携したライドシェアの実装に向けて引き続き検討していく」としている。